



宮司プレス 百十七号

彦島八幡宮 宮司 ニュース

発行者 彦島八幡宮

宮司 柴田 宜夫

発行 平成二十八年 九月 十三日

◇立秋とは名ばかりで、炎熱焼くがとき残

暑厳しき日々が続いておりましたが、先月の二十六日には、朝明けに雨が降ったようでありまして、参道の石畳が、冷ややかに感じられました。台風十二号も一過（いつか）、秋の気配を感じる昨今でもあります。宮司

プレス既刊（きかん）号である六十四号にも掲載いたしました。古今和歌集の秋歌（しゅうか）の巻頭（かんとう）に、藤原敏行が詠（よ）んだ和歌が、

「秋きぬと 目にはさやかに 見えねども

風の音にぞ おどろかれぬる」

です。立秋に詠まれた歌だと言われています。その歌のような折節（おりふし）となりました。先々月の七月の世界の平均気温は、昨年より〇.六度上昇したそうでありまして、一、八八〇年に観測が始まって以来、史上最高の平均気温だったそうです。

東北海道地方に甚大な被害をもたらした台風十号は、昭和二十八年に台風の進路の観測が始まって、初の東北地方上陸という台風でした。小笠原諸島海域の海水温度が、三

十度を超えたそう。複雑怪奇な進路となり、

尊い人命を奪い大きな爪痕（つめあと）を残したものとなりました。確実に地球温暖化が加速しているようです。株式会社ジプリー会長の宮崎駿（みやざき はやお）さんは、

「大切な自然を残そうと思ったら、その残そうとする自然を神社にするしかない」と仰っています。神社の杜（もり）のことを「神奈備（かなび）」といいます。語源は、神様が宿る円錐（えんすい）の形をした山

のことでありまして、奈良県の三輪山は、代表的な山です。八月十一日は、山の日と制定された祝日でしたが、国土地理院の二万五千分の一の地図には、「〇〇山」と記載されている山が、全国で一万五千余りあるそう

です。市町村に平均して、九ないし十の山が存在する数なのだそうです。平成の大合併で、市町村が、広範囲になったとはいえ、驚くべき数ではないでしょうか。日本は、「海の国」「山の国」なのです。山を大切に

すると、海に流れ出す川の水も沢山の養分を含み、魚も増えるわけですから、大自然を大

切にする、何気ない日々の暮らしのなかに、温暖化の加速を遅らせる一つの手立てがあるのかもしれない。そのような観点からも、鎮守の杜（もり）を奉護（ほうご）する、護り奉（たてまつ）る私共の使命は、よりいっそう大切なのであります。

◇お待たせしました、宮司プレス百十七号の発行です。毎年八月につとめる、神職養成講習会の講義資料に、宮司プレスを活用してありますが、毎月発行していれば、何号になり、一体何ヶ月遅れているのか精査（せいさ）しました。今月順調に毎月発行していれば、百二十四号、したがって、七ヶ月遅れていることに気づかされました。「五ヶ月遅れです」と何度も紙面を騒がせていましたが、実は、二ヶ月も詐称（さしょう）していたこと

になります。私が、浅はかでした。お詫び申し上げます。地道に、有言実行（ゆうげんじつこう）で、発行の遅れを取り戻したいと決意を新たにしています。

◇「提灯を借りた恩は知れども天道（てんどう）の恩は忘れる」という諺（ことわざ）があります。闇夜（やみよ）に迷っている時に借りた提灯のありがたさは、いつまでも忘れないが、同じく光を与えてくれる太陽の恵みは、あまりに大きいので、かえってその恩義を忘れてしまうという意味です。物に恵

みは、あまりに大きいので、かえってその恩義を忘れてしまうという意味です。物に恵

まれ、なにも不自由することなく、生活環境も充実している毎日、それが、「当たり前」になってしまい、「ありがたい」という感謝の心を忘れてしまいがちです。じつは、「当たり前」の反対語は、「感謝する心」です。

江戸時代の国学者である本居宣長（もとおりのりなが）の和歌に、

「天地の 神のめぐみし なかりせば

一と日一と夜も ありえてまじや」とあります。

天（あめつち）の神の恵みがあればこそ、毎日の生活も何事無く送ることが出来るので、ありがたいという感謝の心、お陰様でという謙虚な気持ちを忘れない生活を心掛けたいものです。そして、神様、大自然、ご先祖様の恵み、大恩（だいおん）に報いる「報恩（ほうおん）」の生活でありたいものです。ご自愛をお祈り申し上げます。

七月の祭典行事報告

▼月次祭

*七月一日、十五日

▼六連島八幡宮七社祭

*七月九日

※六連島島内の七つの神社の例祭

▼福浦金刀比羅宮月次祭

*七月十日

▼竹の子島天満宮例祭

*七月十五日

▼西山町櫓（やぐら）解体祓

*七月十七日

※昭和四十七年に作られた盆供養の櫓

の解体、感謝のお祭り

▼田の首八幡宮夏越祭

*七月二十四日

▼六連島八幡宮夏越祭、戸別祓

*七月二十五日

▼夏越祭前夜祭

*七月二十九日

▼夏越祭本殿祭御神幸祭

*七月三十日



▼海士郷恵比寿神社夏越祭

*七三十一日

◇七月の宮司の行事会議等活動報告

▼八幡宮関係団体

◇奉賛会茅（ち）の輪（わ）奉製（ほうせい）作業、行事委員会

*七月一日

◇夏越祭奉納グランドゴルフ大会

*七月十日

◇奉賛会奉仕作業（夏越祭）

*七月二十七日

◇敬神婦人会役員会

*七月二十八日

▼山口県神社庁、同下関支部関係

◇亀山八幡宮亀笑会例会

*七月二日

◇山口県神社総代会役員会、山口県神社庁役員会

*七月四日

◇山口県神社庁支部長事務局著書会議、山口県神社庁教学研究部委員会、山口県八幡宮会総会

*七月五日

◇住吉神社鳴瀬宮司浄階一級昇進祝賀会

*七月十二日

◇神職養成講習会開講式、山口県神社庁役員会

*七月二十七日

▼教誨（きょうかい）活動

※美祢社会復帰促進センター

◇集合教誨男子

*七月十一日

▼下関西ロータリークラブ

◇例会

*七月六日、十三日、二十日

◇クラブ協議会

*七月二十日

▼その他

◇なかへ少年学院後援会

*七月二十日